

令和6年度

# 総 会 議 案

日 時 : 令和6年4月23日(火) 午前10時

会 場 : 荻窪地域区民センター2階 第1・2集会室

荻窪地域区民センター協議会

# 目 次

## 第 1 号議案 令和 5 年度事業報告承認の件

	頁
① 概 要	1
総務部	2
地域交流部	2
事業企画部	3
広報部	4
② 各部事業の詳細	4
第 2 号議案 令和 5 年度事業会計収支決算報告承認の件	13
第 3 号議案 令和 5 年度会計収支決算に関する会計監査 報告書承認の件	15
第 4 号議案 令和 6 年度事業計画案承認の件	16
① 概 要	16
③ 各部計画案	19
第 5 号議案 令和 6 年度事業会計収支予算案承認の件	20
第 6 号議案 会則改正の件	22
(参考資料) 委員名簿	

# 第 1 号 議 案

## 令和 5 年度 事業報告 承認の件

### ① 概 要

今年度の初めに掲げた活動方針では、3年あまりに亘る新型コロナウイルス感染症流行によって委縮した活動を活性化し、再出発する年と位置付けましたが、ほぼ当初の計画通りの事業を達成することができ、再出発の年として十分な活動ができました。各イベントの参加者数も昨年度以上となり、コロナ禍以前とほぼ変わらない活動を通して、地域コミュニティの活性化に貢献できたと評価できます。

主要なイベントとしては、恒例の「さいえんす縁日」、「地域ふれあいコンサート」、「アート展」、「おぎくぼセンター祭」などを実施し、いずれも好評を得ました。「本天沼集会所まつり」はなくなりましたが、新しい企画として、「春の子どもまつり」を開催しました。昨年来、若い世代向けイベントに重点を置くことを方針の一つとしており、「サイエンス縁日」、「センター祭」のハロウィーンコーナーに次ぐイベントが加わりました。開催当日は大変盛況で多くの家族連れの方々に喜んでいただきました。このほか「防災フォーラム」も、関東大震災 100 年の節目の年として、「知らないと後悔する自然災害への目線」と題し、これまで、必ずしも防災に深い関心を持ってこなかった地域住民の方々を対象として、あらたな視点で取り組みました。

今年の「地域懇談会」は、次項に紹介があるように、特徴のあるテーマをもつ二回の開催となりました。これらに加え、三回の地域交流会「こみゆに亭カフェ」も開催され、地域交流の機会提供に努めました。講座、講演会、コンサートなど継続したプログラムも充実し、昨年度以上に多くの参加者を得ました。また、若い年代向けの講座「夫婦で学ぶ産後ケア」が新たに企画されましたが、この年代層へ向けてのセンターの果たす役割を模索することも、これからの課題です。

当協議会の 40 周年記念事業として 2016 年に始まった、展示『荻窪の記憶』および冊子発行のプロジェクトも、7 月開催の「総集版 荻窪の記憶」発刊シンポジウムの開催をもって一区切りとなりました。長きにわたって事業に関わられてきた皆様に感謝申し上げます。

なお協議会委員の体制ですが、年度末には 24 名となっております。

生も手伝いに来ていただき、地域の方々との触れ合いを通じた社会活動経験の場となりました。

一方、春の子どもまつりでは、コロナ感染症が落ち着いたので休憩コーナーを復活することが出来ました。またマルシェコーナーでは買物を楽しんだり、休憩コーナーでは和やかに触れ合う親子の姿が多くみられました。

#### 「事業企画部」

令和5年度は、感染症への警戒・規制が緩和され、ほぼ通常通りに講座・イベントを開催することができました。事業企画部が実施した事業の詳細は別紙のとおり、23企画一延べ開催回数41回、参加人数1,456名となり、参加人数は令和3年度の1,062人、令和4年度の1,365人を上回りました。

開催講座やイベントの内容は、健康や食に関するものとして「ハーモニーを楽しむヴォイストレーニング」、「正しく学ぼう！ラジオ体操」、「リズム&ストレッチ」、「腰痛スッキリ体操」、「大人のワイン講座」、文学を楽しむ「大人の絵本レッスン」、「いきいき朗読教室」、「初心者のための俳句教室」、野外講座「武蔵野自然探訪」、草花を楽しむ「草花の寄せ植え」、そして、子どもたちが楽しみながら科学を学ぶ「さいえんす縁日」など多岐にわたりました。

「秋を楽しむ木の实工作教室」は、いつも子供達に大人気です。

7月8日には、執筆者の参加を得て「総集版 荻窪の記憶」発刊シンポジウムを開催し平成28年に始まった本プロジェクトは、一つの節目を迎えました。

当協議会のユニークな取り組みとして中途失聴・難聴者の方々にも落語を楽しんでいただけの「荻窪寄席」は、金原亭馬玉師匠・翁家和助師匠をはじめ 中途難聴者の会、要約筆記サークルさくらんぼの会、東京翻訳の皆さまなど多くの方々のご協力得て15年にわたり開催されており、落語と寄席芸で毎回大好評です。

神田山緑師匠が地域内小学校を巡回して行う講談出前授業が、今年度は荻窪小学校で開催され、小学生が講談に接する貴重な機会となりました。講談鑑賞会では、怪談話で今年も好評を博しました。

2年目の開催となった「ひらやすかつこが歌う日本の歌と世界の歌」も好評でした。

「防災フォーラム」は、前年度より当協議会の単独開催となっていますが、関東大震災100年「知らないと後悔する自然災害への目線」と題して、「住んでいい町、ダメな町」

以下に、各部の活動状況の詳細を報告いたします。

#### 「総務部」

まず地域懇談会ですが、次のとおり二回開催しました。

7月には、「総集編・荻窪の記憶発刊記念シンポジウムと地域懇談会」と題して、刊行に携わられた方々の講演の後、4グループに分かれて歴史を踏まえた今後の発展について懇談を行いました。

ついで2月には「共生社会に向けて(障害者への対応について)」というテーマで、公益財団法人共用品推進機構の専門家と杉並区の行政担当の方々から、障害者の方達が積極的に参加・貢献していくことができる社会の実現に向けての取り組みについて講演を伺ったのち、グループに分かれて荻窪地域区民センター協議会としてあるいは参加団体としてどのような取り組みが必要か熱心な討議が行われました。

地域交流会「こみゆに亭カフェ」は、9月にジャズシンガーによる「歌と皆さんのおしゃべりで楽しもう」を、12月に「ナタリアさんとウクライナのクリスマス料理を作って語り合おう」というタイトルで料理を教わり、皆で賞味し語り合い、と盛り沢山の内容で行われました。

同年度の締め括りに3月、シャンソン歌手を招き、歌に加え二重唱に参加し、楽しい語らいがありました。

館内研修として、前述の「共生社会に向けて」を11月に、館外研修は10月に高円寺の「IMAGINUS」を見学しました。

#### 「地域交流部」

令和5年度は新型コロナが5類となり、開催内容に制限をかけることのない年度となりました。計画した4つのイベント（おぎくぼセンター祭、地域ふれあいコンサート、アート展、春の子どもまつり）をすべて実施することができました。（詳細：地域交流部「集团事業費及び協働事業」）

従来から各イベントは来場者の拡大を目指していますが、令和5年度は「笑顔あふれるつどいの場」とテーマを決めて、地域の来場者に寄り添う場となることを目的に進めてきました。

10月実施の「おぎくぼセンター祭」から「春の子どもまつり」までさまざまな地域の年齢層にスポットを当てて皆さんが集い、楽しめる企画としました。昨年に引き続き、センター祭では都立荻窪高校の生徒さんら8名がボランティアとして参加、地域在住の中学

の著者 大木裕子氏の講演、杉並区役所市街地整備課と防災課の協力、そして地域住民の方々の参加・協力を得て成功裏に開催することができました。

生活に役に立つ講座として、新たに「『犬神家の一族』から学ぶ遺言」「夫婦で学ぶ産後ケア」を開催することができました。

「広報部」

広報紙「わたしのおぎくぼ」を計画通り年6回発行しました。ホームページは講座などの申し込みを前年度から出来るようになり、順調にアクセス数を伸ばしています。

また、「荻窪の記憶」シリーズの集大成となる「総集版 荻窪の記憶」発行しました。

## ②各部事業の詳細

### [ 総 務 部 ]

名 称	開 催 日	内 容
総 会	4月25日(火)	町会、自治会、学校支援本部、ケア24 など参加
会 計 監 査	4月11日(火) 10月24日(火)	令和4年度 決算監査 令和5年度 上半期監査
委員研修 (館内)	11月28日(火)	「共生社会の実現は地域社会から」 講師・星川 安之氏 公益財団法人共用品推進機構専務理事 講師・山本 佳子氏 杉並区障害者施策課係長
(館外)	10月3日(火)	「IMAGINUS(イマジナス)」見学
近隣清掃 クリーン大作戦	6月6日(火)	荻外荘通りの清掃活動と「荻外荘通り」プレート の現況確認
地域懇談会	7月8日(土) 2月10日(土)	「総集版 荻窪の記憶」発刊記念シンポジウム と地域懇談会 「共生社会に向けて(障害者への対応について)」 講師・星川 安之氏 公益財団法人共用品推進機構専務理事 講師・山本 佳子氏 杉並区障害者施策課係長

地域交流会 「こみゆに亭カフェ」	9月9日(土)	「小田陽子の歌と皆さんのおしゃべりで楽しもう」 ジャズシンガー 小田陽子氏
	12月10日(日)	「ナタリアさんとウクライナのクリスマス料理を作って語り合おう」
	3月10日(日)	「シャンソン歌手 Mihoko と共に」
協議会活動検討会	6月27日(火) 8月1日(火) 11月14日(火)	荻窪地域区民センターの改修工事中の運営体制を支えるため会則のあり方について検討会を実施。
役員会・委員会	毎月	毎月開催の役員会及び委員会資料の作成、議事録作成
経理業務	随時	講座・講演会、お祭りなど費用支出の管理、予算執行全体の管理等

[地域交流部] 集団事業

事業名	開催月日	内 容
第45回 おぎくぼセン ター祭	10月29日	「笑顔あふれるつどいの場」をテーマに実施 1F (アウトドア会場) 苗木配布・・・区緑化事業の一環「苗木で募金」 をつのる (15,761円を区に寄付) 花販売・・・地域の花店に場所提供出店 1F (玄関フロアー) 杉並産野菜販売・・・3地区5生産者出荷 1F (談話コーナー) マルシェ・・・協議会出店 (6ブース)、ポップコーン 販売、綿菓子販売、飲料販売、場所提供出店 (和菓子・ クッキー・パン) 2F 体験コーナー デジタル宇宙散歩・発電体験 消費者センター・模擬消火・健康測定 木のおもちゃで遊ぼう 2F ステージ コーラス、ソーラン踊り、ヒップホップダンス、 人形劇、軽音楽 2F ハロウィン撮影会場設置 (100家族写真撮影) 2F 廊下壁面 写真展示2グループ B2 体育室 ニュースポーツ体験 (173人参加) 来場者：約900名



<p>第45回 アート展</p>	<p>2月23日 24日</p>	<p>コロナ前の開催月に戻して2月に開催</p> <p>個人出展：52作品（絵画、写真、陶芸、手芸等）</p> <p>グループ：10グループ（絵手紙、絵画、表装、写真トールペイント、ガラス絵）</p> <p>今年度初めて保育園の出展を採用した</p> <p>保育園：5園・小学校：6校・中学校：2校</p> <p>特別展示：高校シリーズ第2弾（都立荻窪高校美術部）</p> <p style="text-align: right;">来場者：約500名</p>
<p>春の子ども まつり</p>	<p>3月3日</p>	<p>今年度初めての試みとして子どもに視点を当てたイベントを企画、「子どものためのまつり」を狙いとして笑顔あふれるふれあいの場として実施</p> <p>1F 談話コーナー（マルシェ）6ブース</p> <p style="padding-left: 2em;">綿菓子、ポップコーン、クッキー、パン、飲料、缶バッチ配布</p> <p>2F 4.5 集会室（写真撮影会場）</p> <p style="padding-left: 2em;">ひなさまと写真を撮ろう（100家族が撮影）</p> <p>1.2 集和室</p> <p style="padding-left: 2em;">木のおもちゃで遊ぼう</p> <p style="padding-left: 4em;">（0歳から大人まで73組173人が参加）</p> <p>6 集会室・工芸室（作って遊ぼう）</p> <p style="padding-left: 2em;">キャンディレイを作ろう・おひなさまをつくる</p> <p style="padding-left: 4em;">（200名参加）</p> <p style="text-align: right;">来場者：約450名</p>

[地域交流部] 協働事業

事業名	開催月日	内 容
第9回 地域ふれあい アフタヌーン コンサート	11月4日	<p>荻窪音楽祭と協働</p> <p>9回目の今回はプロによる演奏と都立荻窪高校吹奏楽部の演奏で実施、プログラムは年齢層を考慮した演奏曲目へ配慮した。</p> <p>1部：13：30～14：15</p> <p>2部：14：30～15：15</p> <p>再度聴きたいという要望多数</p> <p style="text-align: right;">来場者：70名（満席）</p>
荻窪高校文化祭	9月23日	文化祭当日に協議会活動のPRコーナーを提供してもらい、祭りのポスター掲示とチラシ配布を実施した。
あきまつり 荻窪小学校	10月7日	缶バッジ機械を持ち込み、缶バッジ作りで参加。250名の子どもが来店
あそび市 松溪中学校	10月7日	実施先都合により中止
ゆう杉並 地域ふれあい デー	10月8日	<p>杉並区児童青少年課ゆう杉並の依頼により綿菓子機とともに祭りに参加。綿菓子を作り配布活動を実施した。</p> <p>協議会地域交流部7名が参加</p>
昔あそび 西田小学校	12月22日	協議会OBの協力により、1年生にけん玉、お手玉、あやとり遊びを実施

[事業企画部]

No.	開催月日	講座名：講師名・協働先	定員	単位	延べ参加数(人)
			(名)	(回)	
1	4月、5月	ハーモニーを楽しむヴォイストレーニング 安藤操 氏	20	4	92
2	4月21日	◎『武蔵野の自然探訪』春、新緑の木々と草花 星野義延 氏 星野順子 氏 府中の植物を記録する会	15	1	12
3	5月、6月	◎正しく学ぼう！ラジオ体操 銚立和子 氏 全国ラジオ体操連盟	30	2	47
4	5月27日	季節の草花の寄せ植え（洋風） 吉野華恵 氏	20	1	20
5	6月	リズム&ストレッチ 後藤鈴香 氏	25	4	73
6	6月、7月	大人の絵本レッスン～素敵に生きるヒント 生田美秋 氏	15	3	43
7	7月3日	◎講談出前授業 神田山緑 氏 会場：荻窪小学校	120	1	150
8	7月8日	◎『総集版 荻窪の記憶』発刊記念 シンポジウムと地域懇談会 荻窪の記憶執筆者	30	1	40
9	7月30日	◎さいえんす緑日 くらりか、だがしや楽校、すぎなみシェアリング ネイチャーの会、どこ竹、昆虫食、サイエンス スホッパーズ	300	1	310

10	8月12日	◎講談鑑賞会 神田山緑氏 一龍齋貞奈氏 講談協会	30	1	22
11	9月、10月	大人のワイン講座 上田紀子氏	20	2	34
12	10月	いきいき朗読教室 岡 摂子氏	20	4	82
13	9月30日 10月1日	◎関東大震災100年！防災フォーラム (10/1 展示のみ) 大木裕子氏 杉並区市街地整備課・防災課	50	1	53
14	10月20日	◎武蔵野自然探訪「善福寺川緑地の秋」 渡辺直明氏 星野義延氏 星野順子氏 府中の植物を記録する会	20	1	21
15	11月25日	◎荻窪健康サロン in 荻窪地域区民センター 荻窪保健センター	20	1	185
16	11月26日	◎秋を楽しむ木の実工作教室 山室京子氏 自然観察の会杉並	20	1	19
17	12月	◎背骨を整えよう！腰痛スッキリ体操 高橋晃史氏 背骨コンディショニング協会	20	3	38
18	12月10日	◎荻窪寄席 金原亭馬玉氏 翁家和助氏 杉並区中途失聴・難聴者の会 要約筆記サークルさくらんぼ	40	1	32
19	12月、1月	初心者のための俳句教室 野崎海芋氏	20	4	77

20	1月25日	ひらやすかつこが歌う日本の歌と世界の歌 ひらやすかつこ氏 ピアノ：醍醐抄代子氏	50	1	59
21	2月3日	◎『犬神家の一族』から学ぶ遺言 池尻亜希子氏 東京都行政書士会杉並支部	40	1	24
22	3月9日	◎夫婦で学ぶ産後ケア 吉田紫磨子氏 NPO法人マドレボニータ	20	1	3
23	3月18日	◎武蔵野自然探訪「善福寺川緑地の春」 渡辺直明氏 星野義延氏 星野順子氏 府中の植物を記録する会	20	1	20
合 計 23回 (◎協働事業15回・学級講座8回)			965	41	1,456

## [広 報 部]

### 1. 荻窪地域区民センター協議会の広報紙 「わたしのおぎくぼ」の発行

(1) 発行回数 年 6 回 ( A 4 判・4 ページ・カラー印刷 )

(2) 発行部数 No.363～368 各 11,000部

(3) 配布部数 (令和6年3月時点)

① 区立小学校5校・区立中学校4校・都立高校1校 5,463部

② 町会・自治会回覧配布用 2,369部

③ 区及び区関連施設等配布用(交換便) 1,220部

④ 協議会委員による配布 935部

⑤ 常設設置場所・その他配布・ヨビ 1,013部

合計 11,000部

(4) 発行日と (メインの記事) ※印は発刊後に延期または中止

① No.363 6月・7月号 (表紙 さいえんす縁日) 5月30日発行

② No.364 8月・9月号 (表紙 防災フォーラム) 7月11日発行

③ No.365 10月・11月号 (表紙 荻窪センター祭) 9月26日発行

④ No.366 12月・1月号 (表紙 第45回アート展) 11月28日発行

⑤ No.367 2月・3月号 (表紙 春の子どもまつり) 1月30日発行

⑥ No.368 4月・5月号 (表紙 会長挨拶・新年度活動) 3月12日発行

(5) 編集内容

① 協議会の事業 (講座・講演・イベント等) の開催案内、及び結果報告

② 総会など協議会行事の報告、委員募集、地域情報の掲載

③ 連載ものの掲載 (「荻窪の人と集いの場」、「『荻窪の記憶』こぼれ話」)

### 2. 「わたしのおぎくぼ」以外の発行物

● 「総集版 荻窪の記憶」 発行 3,000部

### 3. ホームページの運用

・ 講座・イベントなどの「お知らせ」を活用したタイムリーな情報発信に努めた

お知らせ掲載件数 令和5年度：50件 (令和4年度：50件)

・ ホームページ画面から講座などの受講申込を多数受け付けた。

### 4. その他

◆ 年度を通し、広報部員が協議会の全ての行事・事業等取材し、写真撮影を行った。

## 第 2 号 議 案

### 令和 5 年度 事業会計収支決算報告 承認の件

(令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 3 1 日まで)

収入決算額	9,402,175 円
支出決算額	8,606,683 円
差引残高	795,492 円

区への返還金	451,101 円
差引翌年度繰越金	344,391 円

#### I. 収 入

(単位:円)

区 分	予算額	決算額	差引差額	差額 (うち補助金)	差額 (うち自主財源)
1. 区補助金	8,663,000	8,663,000	0	0	0
① 委員活動費	3,864,000	3,864,000	0	0	0
② 事業費	4,569,000	4,569,000	0	0	0
③ 事務局運営費	230,000	230,000	0	0	0
2. 諸収入	387,000	347,756	△ 39,244	0	△ 39,244
① 事業参加者収入	157,000	220,700	63,700	0	63,700
② 模擬店売上収入	220,000	117,550	△ 102,450	0	△ 102,450
③ 雑収入	10,000	9,506	△494	0	△494
3. 繰越金	391,419	391,419	0	0	0
合 計	9,441,419	9,402,175	△ 39,244	0	△ 39,244

## Ⅱ. 支出

(単位:円)

区 分	予算額	決算額	差引差額	差額	
				(うち区補助金)	(うち自主財源)
1. 委員活動費	3,864,000	3,478,500	385,500	385,500	0
2. 事業費	4,988,000	4,797,284	190,716	64,510	126,206
①学級講座費	361,000	357,300	3,700	100	3,600
②集団事業費	1,075,000	1,010,537	64,463	0	64,463
③地域活動事業費	10,000	3,011	6,989	6,989	0
④懇談会費	170,000	161,622	8,378	0	8,378
⑤広報活動費	1,459,000	1,431,044	27,956	17,956	10,000
⑥総会費	50,000	7,000	43,000	23,000	20,000
⑦保険料	80,000	69,350	10,650	6,850	3,800
⑧事務費	423,000	421,953	1,047	1,047	0
⑨交通・通信費	40,000	32,688	7,312	7,312	0
⑩渉外費	30,000	25,144	4,856	1,256	3,600
⑪協働事業費	1,290,000	1,277,635	12,365	0	12,365
3. 事務局運営費	230,000	228,909	1,091	1,091	0
4. 委員研修費	100,000	26,490	73,510	0	73,510
5. 諸支出金	109,419	75,500	33,919	0	33,919
6. 予備費	150,000	0	150,000	0	150,000
支出合計	9,441,419	8,606,683	834,736	451,101	383,635

(区への返還金) (翌年度繰越金)

Ⅲ. 残高 (収入-支出)	0	795,492	795,492	451,101	344,391
------------------	---	---------	---------	---------	---------

## 貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位 円)

資産の部		負債の部	
普通預金	795,492	区への返還金	451,101
		負債合計	451,101
		正味財産の部	
		繰越金	391,419
		当期収支差額	△ 47,028
		正味財産合計	344,391
資産合計	795,492	負債・正味財産合計	795,492




**第 3 号 議 案**  
令和 5 年度事業会計収支決算に関する  
会計監査報告書承認の件

会 計 監 査 報 告

令和 6 年 4 月 9 日(火)

荻窪地域区民センター協議会  
会 長 惠 羅 博 様

会計監事 桑 山 泰 夫 

会計監事 三 原 紀 久 典 

荻窪地域区民センター協議会監査規則に基づき、令和 5 年度 収支決算について関係帳簿・起票書類を監査したところ、いずれも財務規則に準拠し、適正、正確に処理されていることを認めます。

以 上

# 第 4 号 議 案

## 令和 6 年度 事業計画案 承認の件

### ①概 要

令和 6 年 11 月から令和 8 年 5 月までの期間、荻窪地域区民センターの改修工事が予定されています。この期間、協議会の活動拠点は南荻窪の「荻窪会議室」が予定されていますが、活動内容に大きな制約が掛らざるを得ません。講座等の代替会場の手当、野外講座企画、諸団体との協働事業、インターネットを通じたオンライン企画等々、今年度 10 月までの活動にも、その後の活動に備えた準備として、様々な試みに取り組むことが求められています。3 年余りの停滞を経て今年度漸く活性化してきた協議会の活動を、再び、ある程度縮小することはやむを得ないことではありますが、新たな視点と工夫により、6 年度後半から 7 年度の間、出来る限り今年度の活動レベルに近づける努力をすること、そのための準備をすることが今年度の最大の課題となります。

以上を前提に、新年度の活動の特徴は以下の 6 項目となります。

#### 1. 人々をつなぎ、地域を盛り上げる「イベント」活動：

昨年度、ようやく人々がつながることのできる環境に戻ってきました。

しかしながら令和 6 年度は荻窪地域区民センターが改修工事のため 11 月 1 日より閉館となります。その中においても「センター祭」を主軸として、途切れることなく今までに引き継いできたものを踏まえ、大切にしながらも「今の人々」が必要としているものを取り入れて荻窪地域ならではのイベントを企画します。

#### 2. 地域のネットワークづくり：

「地域懇談会」は町会・自治会や NPO 等、多くの団体との意見交換、学習の場であり、協議会活動の点検のためには欠かせない貴重な機会です。昨年度は特徴のあるテーマのもとでの 2 回の開催で好評を得たことを踏まえ、新年度も同様の方針を継続し

て実施します。

従来の地域交流会「こみゆに亭」と「こみゆに亭カフェ」のコンセプトを整理し、「こみゆに亭カフェ」という名称に統一します。自由な発想で企画、運営し、参加者に楽しんで頂けるような交流の場として継続していきます。

「防災フォーラム」は、新年度は「子供達の防災・災害時の防犯」をテーマに実施を計画しております。

### 3. 地域発見の機会提供：

本年秋『荻外荘』が復元再建されオープンする機会を捉えて、『荻外荘』について様々な視点から分析・検討する企画・シンポジウムの開催を考えております。

平成30年度に始まった「道の愛称プロジェクト」を、あらたに「道の愛称」委員会として継承し、『荻外荘』通りの呼称の普及と名称票管理を継続します。

### 4. 生涯教育に寄与する多彩な講座の提供：

引き続き生涯教育へのヒントとなるような入門的講座を用意します。教養・文学講座では、前年に引き続き「大人の絵本レッスン—すてきに生きるヒント」、 「いきいき朗読教室」を開催します。

これまでの「初心者のための俳句教室」に代わり、「初心者のための短歌教室」を3回シリーズで行います。健康・スポーツ講座では、「背骨を整えよう！腰痛スッキリ体操」の継続に加え、新講座「口腔美エクササイズ」を開催します。「草花の寄せ植え」講座は、植物を多肉植物に変更して「多肉植物の寄せ植え」として開催します。

飲食関連では、前年までの「大人のワイン講座」に代えて「日本酒よもやま話」講座を開催します。

また芸術・芸能関連では、平成22年から毎年続いている「荻窪寄席」を新年度も継続して開催します。この企画は、中途失聴・難聴者の方々にも楽しんでいただける字幕付き寄席で、他に例を見ないユニークで貴重な催しとの評価をいただいています。毎年好評の「講談鑑賞会」も開催します。

新たに、「オペラ制作の舞台裏」と題した講座を行います。

1 1月閉館後の大規模な講座開催に当たっては、阿佐ヶ谷地域区民センター、高井戸地域区民センターを使用させていただき予定で関係者と打合せを進めています。

#### 5. 幅広い世代へ向けた企画・講座：

現状、講座への参加者が高齢者に偏りがちです。この状況を変えるためにも、「子育て世代」や「熟年層」にも関心のあるテーマを選択したり、開催時間を変更するなどして、幅広い世代のニーズに応じて行けるよう検討します。

親子連れで参加できる「さいえんす縁日」は今年も夏休み中の大勢の子どもたちの参加を見込んでいます。毎年好評の「講談出前授業」は西田小学校への出前となる予定です。

#### 6. 広報活動の一層の充実：

隔月発行の広報誌「わたしのおぎくぼ」については、町会・自治会、区関連施設、地域内の区立小中学校 9 校および都立荻窪高校の全生徒、および委員による諸施設・店舗への配布を継続し、地域に役立つ情報を提供します。

ホームページの活用によるタイムリーな情報発信をおこないます。協議会の全てのイベント・講座に関して、広報誌・ホームページを通じ、開催案内→当日の取材・撮影→開催報告まで、情報発信をおこないます。また、ホームページからのオンライン応募受付システムを開始してから 2 年が経過しましたが、この間に生じた問題点、長所、短所を検討し、より有効なシステムの開発に努めます。

## ②各部計画（案）

部門	事業・活動	項目	回数	開催予定・単位数
総務部	総務活動	定期総会	1回	4月
		会計監査	2回	4月・10月
		役員会・委員会	24回	毎月
		地域懇談会	1回	未定
		館内研修	3回	随時
		館外研修	1回	9月
		地域交流会「こみゆに亭カフェ」	3回	8月・2月 他
		近隣清掃クリーン大作戦 総務・会計業務全般、センター改修準備	2回	5月・10月 随時
地域交流部	集団事業	おぎくぼセンター祭	1回	9月
		アート展	1回	未定
		春の子どもまつり	1回	3月
	協働事業	地域ふれあいコンサート	1回	延期
	あそび市（松溪中学校）	1回	10月	
	ふれあいまつり（ゆう杉並）	1回	10月	
事業企画部	講座・講演	教養・文学講座	3回	9単位
		医療・健康・スポーツ講座	1回	2単位
その他講座		3回	4単位	
	協働事業	講演鑑賞会・講演出前授業・荻窪寄席	7回	9単位
ラジオ体操・健康講座				
野外講座				
防災イベント 科学イベント				
広報部	広報活動	広報誌「わたしのおぎくぼ」発行 ホームページの運用	5回 随時	
共通活動		七館連絡会 部会 実行委員会	6回 188回 25回	各部1回～2回 4部×47回 5実行委員会、各5回

# 第 5 号 議 案

## 令和 6 年度 事業会計収支予算案承認の件

### I. 収 入

(単位 円)

区 分	令和 6 年度 予算	同左内訳 (上段補助金) (下段自主財源)	令和 5 年度 予算	令和 5 年度 実績	前年度予算 対比・差額
1. 区補助金	8,656,600	8,656,600 0	8,663,000	8,663,000	△ 6,400
① 委員活動費	3,843,000	3,843,000 0	3,864,000	3,864,000	△ 21,000
② 事業費	4,583,600	4,583,600 0	4,569,000	4,569,000	14,600
③ 事務局運営費	230,000	230,000 0	230,000	230,000	0
2. 諸収入	336,000	0 336,000	387,000	347,756	△ 51,000
① 事業参加者収入	151,000	0 151,000	157,000	220,700	△ 6,000
② 模擬店売上収入	175,000	0 175,000	220,000	117,550	△ 45,000
③ 雑収入	10,000	0 10,000	10,000	9,506	0
3. 繰越金	344,391	0 344,391	391,419	391,419	△ 47,028
合 計	9,336,991	8,656,600 680,391	9,441,419	9,402,175	△ 104,428

## Ⅱ. 支 出

(単位 円)

区 分	令和 6 年度 予算	同左内訳 (上段補助金) (下段自主財源)	令和 5 年度 予算	令和 5 年度 実績	前年度予算 対比・差額
1. 委員活動費	3,843,000	3,843,000 0	3,864,000	3,478,500	△ 21,000
2. 事業費	4,912,600	4,583,600 329,000	4,988,000	4,797,284	△ 75,400
① 学級講座費	434,000	419,000 15,000	361,000	357,300	73,000
② 集団事業費	940,000	790,000 150,000	1,075,000	1,010,537	△ 135,000
③ 地域活動事業 費	45,000	45,000 0	10,000	3,011	35,000
④ 懇談会費	170,000	80,000 90,000	170,000	161,622	0
⑤ 広報活動費	1,578,600	1,568,600 10,000	1,459,000	1,431,044	119,600
⑥ 総会費	50,000	30,000 20,000	50,000	7,000	0
⑦ 保険料	80,000	63,000 17,000	80,000	69,350	0
⑧ 事務費	495,000	495,000 0	423,000	421,953	72,000
⑨ 交通・通信費	40,000	40,000 0	40,000	32,688	0
⑩ 渉外費	30,000	10,000 20,000	30,000	25,144	0
⑪ 協働事業費	1,050,000	1,043,000 7,000	1,290,000	1,277,635	△ 240,000
3. 事務局運営費	230,000	230,000 0	230,000	228,909	0
4. 委員研修費	100,000	0 100,000	100,000	26,490	0
5. 諸支出金	101,391	0 101,391	109,419	75,500	△ 8,028
6. 予備費	150,000	0 150,000	150,000	0	0
合 計	9,336,991	8,656,600 680,391	9,441,419	8,606,683	△ 104,428

# 第 6 号 議 案

## 会則改正の件

### 1. 第 2 条(構成)

会は、別表（１）に定める地域の住民をもって構成する。」とあるを、

「会は、別表に定める地域の住民をもって構成する。」に改正する。

(理由) 別表のみ存在する現状に合わせ、(1)を削除するもの。

### 2. 第 9 条(4 号)部長

5 名を 4 名に改正。

(理由)後記第 10 条(5 号)の廃止に伴うもの。

### 3. 第 10 条 1 項 5 号 センターカレッジ部 を削除

(理由) センターカレッジ部は、事業企画部が兼務する体制となっていたが、部としての実態がないため同部を廃止するもの。

### 4. 第 11 条 表中

「事業企画部」の分担に、「、健康増進への、」あるを「、健康増進等に資する、」と変更する。

(理由)「センターカレッジ部の分担を取込む為の文言変更。

「センターカレッジ部」を削除する。

(理由)前項に同じ。

### 5. 第 14 条

「、議事を主催する。」とあるを「議事を主宰する」に改める。

(理由)表記の適正化を図るもの。



# 会則改正（案）新旧対照表

下線部 改正部分

改正前	改正後																								
第2条 会は、別表（1）に定める地域の住民をもって構成する。	第2条 会は、別表に定める地域の住民をもって構成する。																								
第9条 会に次の役員を置き、役員は委員の互選によってこれを定める。 （1）～(3) 略 （4）部長 <u>5名</u>	第9条 同左  （1）～(3) 略 （4）部長 <u>4名</u>																								
第10条 会の活動を分担するため、次の各号に掲げる部会を置く。 （1）～(4) 略 （5）センターカレッジ部	第10条 同左  （1）～(4) 略 （5）号削除																								
第11条 前2条に定める役員及び部会の活動分担は、次のとおりとする。以下略	第11条 前2条に定める役員及び部会の活動分担は、次のとおりとする。以下略																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区分</th> <th style="width: 80%;">分担</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会長</td> <td>会を代表し、会務を統括する。</td> </tr> <tr> <td>副会長</td> <td style="text-align: center;">略</td> </tr> <tr> <td colspan="2">以下(会計監事、総務部、地域交流部、広報部)略</td> </tr> <tr> <td>事業企画部</td> <td>地域住民の文化の向上と健康増進への事業の実施。</td> </tr> <tr> <td>センターカレッジ部</td> <td>社会・経済・芸術等に関する独自の講演会や集いなどの開催。</td> </tr> </tbody> </table>	区分	分担	会長	会を代表し、会務を統括する。	副会長	略	以下(会計監事、総務部、地域交流部、広報部)略		事業企画部	地域住民の文化の向上と健康増進への事業の実施。	センターカレッジ部	社会・経済・芸術等に関する独自の講演会や集いなどの開催。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区分</th> <th style="width: 80%;">分担</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会長</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>同左</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td colspan="2">以下(会計監事、総務部、地域交流部、広報部)略</td> </tr> <tr> <td>事業企画部</td> <td>地域住民の文化の向上と健康増進等に資する事業の実施。</td> </tr> <tr> <td>削除</td> <td>削除</td> </tr> </tbody> </table>	区分	分担	会長	同左	同左	同左	以下(会計監事、総務部、地域交流部、広報部)略		事業企画部	地域住民の文化の向上と健康増進等に資する事業の実施。	削除	削除
区分	分担																								
会長	会を代表し、会務を統括する。																								
副会長	略																								
以下(会計監事、総務部、地域交流部、広報部)略																									
事業企画部	地域住民の文化の向上と健康増進への事業の実施。																								
センターカレッジ部	社会・経済・芸術等に関する独自の講演会や集いなどの開催。																								
区分	分担																								
会長	同左																								
同左	同左																								
以下(会計監事、総務部、地域交流部、広報部)略																									
事業企画部	地域住民の文化の向上と健康増進等に資する事業の実施。																								
削除	削除																								
第14条 総会、臨時総会、役員会、委員会は会長が招集し、議事を主催する。 以下略	第14条 総会、臨時総会、役員会、委員会は会長が招集し、議事を主宰する。 以下略																								

(参考資料)

## 委員名簿

令和6年4月23日現在

役職・所属	氏名	期	住所	選出区分	
会長	惠羅 博	22期	荻 窪	町会	
副会長	杉浦 和子	22期	荻 窪	地域住民	
	熊谷 伸成	23期	宮 前	町会	
会計監事 (2名)	桑山 務	23期	天 沼	東京税理士会荻窪支部	
	三原 紀久恵	24期	荻 窪	東京税理士会荻窪支部	
(経理担当) 総務部 (3名)	◎ 杉原 幸一郎	23期	南荻窪	町会	
	○ 船津 まさ子	22期	宮 前	町会	
		上田 昌子	23期	清 水	NPO法人 すぎなみ栄養と食の会
地域交流部 (7名)	◎ 杉浦 和子	22期	荻 窪	地域住民	
	○ 本田 良夫	22期	天 沼	一般社団法人 すぎなみ文化協会	
		小野 美和子	23期	南荻窪	民生児童委員協議会
		武山 尚道	24期	清 水	地域住民
		中島 圭子	24期	宮 前	地域住民
		西島 肇	24期	荻 窪	地域住民
		平沢 昌子	24期	荻 窪	地域住民
事業企画部 (7名)	◎ 熊谷 伸成	23期	宮 前	町会	
	○ 菊野 一雄	23期	荻 窪	地域住民	
		香取 真実	23期	本天沼	地域住民
		弘中 義夫	23期	荻 窪	地域住民
		堀川 秀夫	23期	天 沼	商店会
		竹田 佳保利	24期	荻 窪	地域住民
		山中 靖之	24期	南荻窪	商店会
広報部 (4名)	◎ 西村 淳一	23期	荻 窪	一般社団法人 すぎなみ文化協会	
		伊藤 久美子	23期	南荻窪	地域住民
		大石 正明	24期	荻 窪	地域住民
		三谷 啓子	24期	上 荻	町会
24名	◎印：部長 ○印：副部長 22期：4名、23期：11名、24期：9名				